

木曾川総合水系環境整備事業

説明資料

平成26年 7月 4日

国土交通省 中部地方整備局
木曾川上流河川事務所
木曾川下流河川事務所

目 次

1. 事業の概要	
(1) 流域の概要	1
(2) 事業の目的及び計画内容	2
2. 評価の視点	
(1) 事業の必要性等に関する視点	
1) 事業を巡る社会経済情勢等の変化	4
2) 事業の進捗状況	5
3. 県への意見聴取結果	6
4. 対応方針（原案）	6

1. 事業の概要

(1) 流域の概要

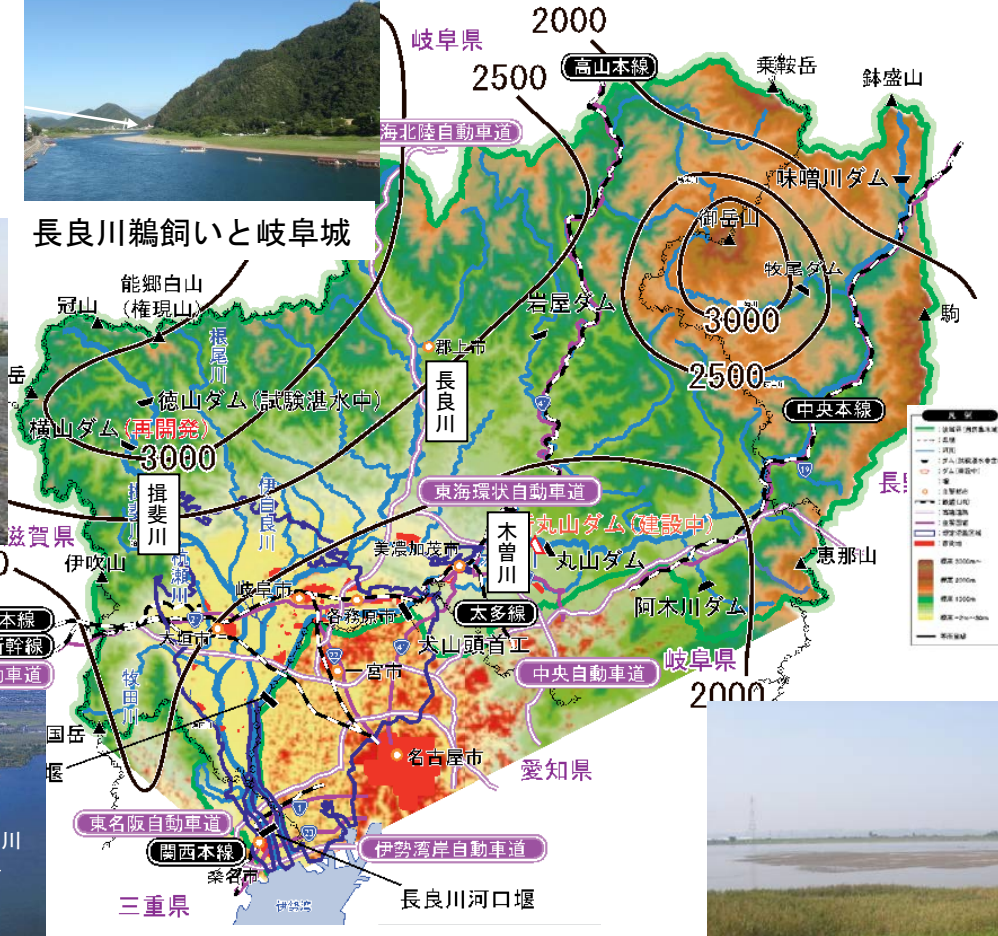
木曾川水系広大で変化に富んだ地形、地質及び気候を反映して、源流から河口に至る豊かな自然環境を有しています。



長良川の中流域の瀬



長良川鵜飼いと岐阜城



木曾川流域図

- 木曾三川流域諸元
- 流域面積
9,100km²
木曾川: 5,275km²
長良川: 1,985km²
揖斐川: 1,840km²
- 幹川流路延長
木曾川: 229km、長良川: 166km、
揖斐川: 121km
- 流域内の主要都市
岐阜市、大垣市、一宮市、江南市、桑名市など
- 流域内人口 約190万人
- 年平均降水量 約2,500mm (平野部)
約3,000mm (山間部)



緩流域のワンド



揖斐川河口部の干潟・ヨシ原

(2) 事業の目的及び計画内容

- 自然再生事業は、環境の悪化状況や生物の生息・生育・繁殖状況等の重要度により優先度を設定し保全・再生を図ります。
- 水辺整備事業は、関係機関等と連携し木曾三川を特徴づける河川景観や親水空間としての良好な水辺景観の保全・整備を図ります。

長良川忠節等自然再生
(レキ河原の再生、外来種駆除)



木曾川笠松トンボ池自然再生
(湿地環境の再生)



木曾川美濃加茂水辺整備
(散策路、親水護岸等の整備)



杭瀬川自然再生
(支川緩流域の環境再生)



木曾三川下流部自然再生
(干潟・ヨシ原再生)



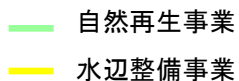
木曾川南派川自然再生
(レキ河原の再生、外来種駆除)



木曾川一宮北部水辺整備
(散策路、高水敷等整備)



木曾川東加賀野井自然再生
(タナゴ類の保全)



対象事業の実施箇所

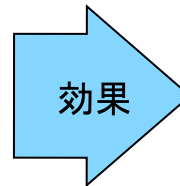
河川名	事業名	目的	内容	期間
木曾川	南派川自然再生事業	流水環境を確保して河原を再生することにより、外来種の拡大の抑制、河原固有植物の生息環境の再生を図る。	河道掘削 樹木伐開	H24~28
	笠松トンボ池自然再生事業	トンボ類の生息環境の改善を図る。	池の掘削・底泥除去 樹木伐開 雨水排水処理 外来種の駆除	H17~24
	東加賀野井自然再生事業	タナゴ類や二枚貝の生息環境の改善を図る。	底泥除去 樹木伐開、浅場の造成 盤下げ	H16~28
長良川	忠節等自然再生事業	河原を再生することにより、外来種の拡大の抑制、河原固有植物の生息環境の再生を図る。	表土掘削(盤下げ)	H18~28
揖斐川	杭瀬川自然再生事業	緩やかな流れを好むヤリタナゴ等の小型魚類や水生植物の生息・生育環境の改善を図る。	旧河道の掘削 樹木伐開	H23~27
木曾川 長良川 揖斐川	木曾三川下流部自然再生事業	生態系の基盤環境である「干潟・ヨシ原」を再生し、下流域の多様な生態系の保全・再生を図る。	干潟再生 ヨシ原再生	H12~28

河川名	事業名	目的	内容	期間
木曾川	美濃加茂水辺整備事業	河川管理の効率化、利用の安全性を確保する。	親水護岸整備 高水敷整備 散策路整備	H23~27 (H22~28)
	一宮北部水辺整備事業	河川管理の効率化、利用の安全性を確保する。	緩傾斜堤防整備 親水護岸整備 高水敷整備 散策路等整備	H21~23 (H20~24)

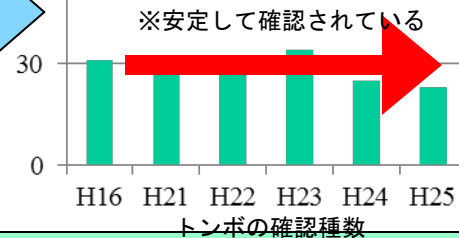
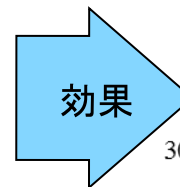
※(期間欄)
上段: 国交省整備期間
下段: 関係機関の整備を含む事業全体の整備期間

(2) 事業の目的及び計画内容

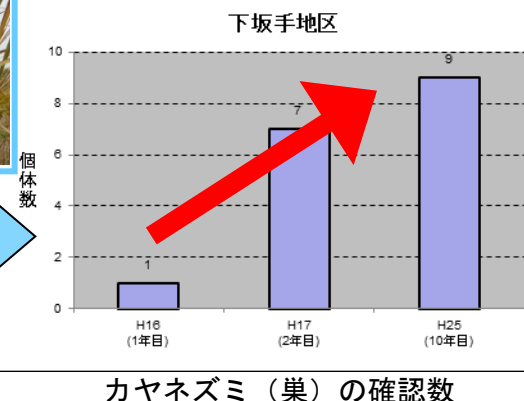
水辺整備 … 一宮北部水辺整備事業



自然再生 … 木曾川笠松トンボ池自然再生事業



自然再生 … 木曾三川下流部自然再生事業



2. 評価の視点

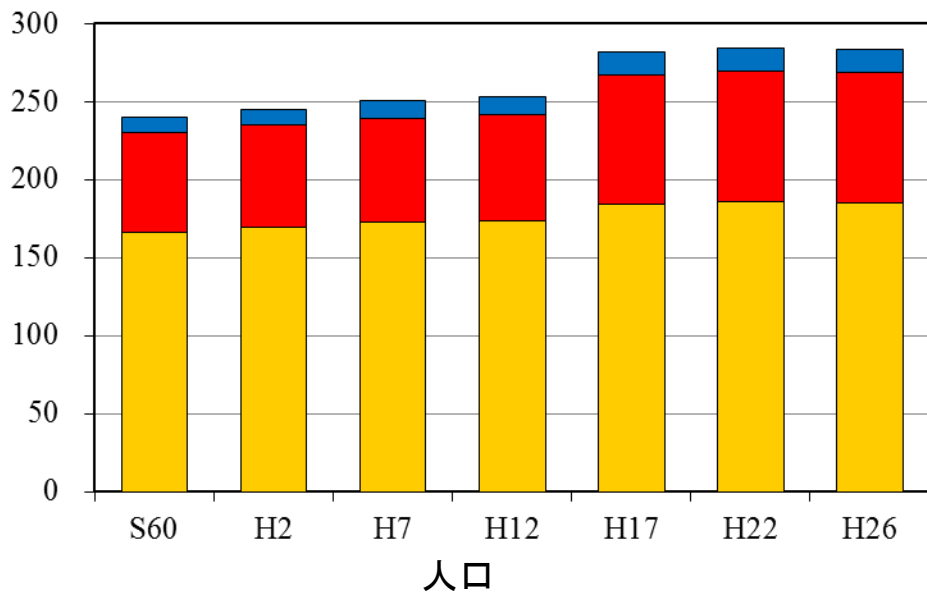
事業の必要性等に関する視点

1) 事業を巡る社会経済情勢等の変化

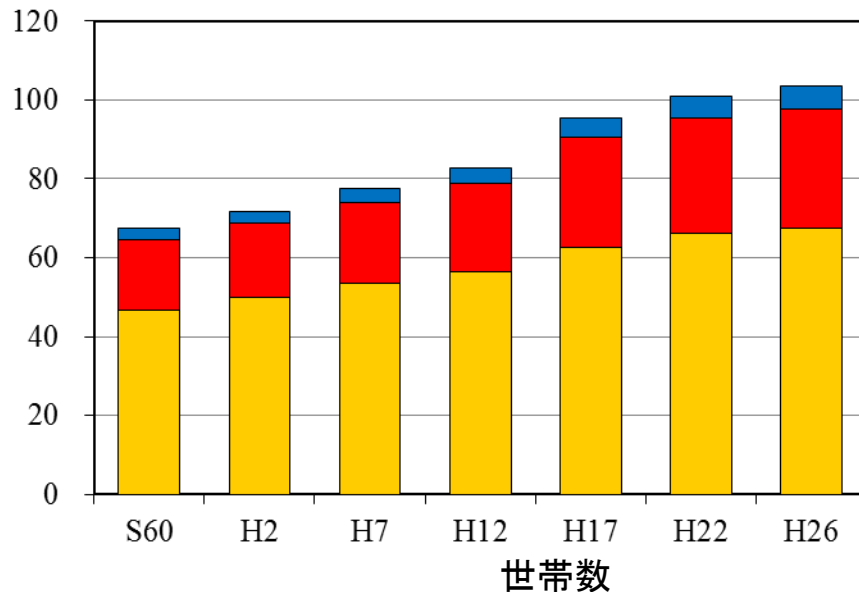
- 沿川市町村人口及び世帯数は平成17年までは増加傾向であったが、近年は横這い傾向である。

岐阜県 愛知県 三重県

(万人)



(万人)



沿川市町村人口と世帯数の変遷

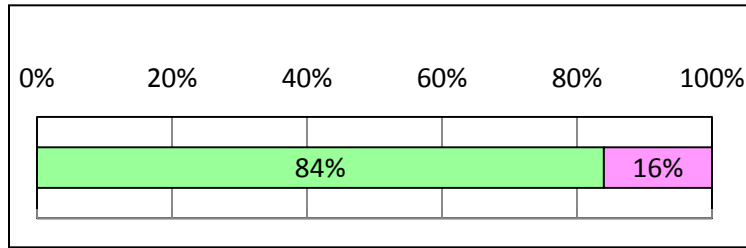
出典：H22までは国勢調査による（木曾三川流域内に含まれる市町村を対象として集計）
H26は住民基本台帳調査による

2) 事業の進捗状況

全体事業費：12,003百万円
実施済み：10,077百万円
残事業費：1,926百万円

○地域と連携した取り組みにより、市民との連携が進み事業の進捗が図られている。

■ 完了分 ■ 残事業分



事業の進捗状況
(事業費ベース；H26年度末時点)



木曽川河口干潟での自然観察会 (H25. 7)



木曽川イタセンパラ保護活動 (H26. 5)



木曽川トンボ池での自然学習会 (H25. 6)



木曽川河口でのヨシ植え体験 (H26. 4)

3. 県への意見聴取結果

(岐阜県)

- ・ 事業の目的が、本県が進める「清流の国ぎふ」づくりの政策の一つである「自然と共生した川をつくる」に沿うものであることから、引き続き進めるようお願いいたします。
- ・ 事業費については、最新技術の活用も含めて、徹底したコスト縮減をお願いいたします。

(愛知県)

- ・ 「対応方針（原案）」案に対して異議はありません。
- ・ 事業実施にあたっては、事業効果を検証しつつ、河川環境の変化等に応じた管理をお願いしたい。
- ・ なお、事業実施にあたっては、一層のコスト縮減など、より効率的な事業推進に努められるようお願いしたい。

(三重県)

- ・ 本事業は、木曾川の河川環境の整備と保全に必要な事業です。今後も引き続き、本県と十分な調整をしていただき、木曾川水系河川整備計画に基づき、事業を推進していただきますようお願いいたします。

4. 対応方針（原案）

- ・ 木曾三川らしい河川環境の保全・再生や、地域住民の河川利用に関する需要が見込まれ、事業の必要性は高い。
- ・ 今後、効果の発現が見込めることから、木曾川総合水系環境整備事業を継続する。